

タイトル：2012年に合格するための年末の過ごし方

1. 年末の位置づけ

- (1) 最も落ち着いて時間をとることができる（弁理士試験工程上は）
- (2) 年が明けるとカリキュラムが一気に密になる
- (3) 現実には忙しいことが多い
→当初の年末の目的が達成されなかったからといって気落ちしない

2. 短答式筆記試験合格のために

- (1) 短答式筆記試験の過去問解答
- (2) 青本読み込み（制度趣旨の確認）→重要個所にマーカー
- (3) 直前に用いる資料の作成
→特 24 条、151 条、174 条及び商 68 条の準用一覧表、罰則の一覧表

3. 論文式筆記試験合格のために

- (1) 年内に扱った答練等の復習（新たな教材に手を出さない）
- (2) 青本読み込み（制度趣旨の確認）→重要個所にマーカー
- (3) 直前に用いる資料の作成
→青本抜粋、判決文抜粋

4. 年明けに向けて

- (1) 短答式筆記試験→短答的中答練、論文式筆記試験→論文的中答練
- (2) 論文式筆記試験（選択科目）→著作権法対策コース
- (3) 復習に重点（カリキュラム外の新たな教材に手を出さない）

以上